

気象界消息

1. タイ国農業気象業務援助

気象庁産業気象課 丸山植三氏は5月11日から11月10日までの半年間、タイ国の農業気象技術を指導するためWMOから派遣される国連技術援助計画に基づく農業気象専門官として出張し、タイ国政府に農業気象業務の勧告、指導をおこなうこととなった。

2. ハンガリーからの気象研修

WMOの委託により、ハンガリー気象台の水理気象観測部次長 ツェルナー氏 (Dr. R. CZELNAI) が気象観測・測器の研修に来日した。5月11日から10月末日まで、気象庁および研究所で研究に従事する予定。

3. 南阿からの視察

南アフリカ連邦気象局では日本から気象用レーダーを購入することとなり、その検収のため、高層課のロイド (I.H. LLOYD) およびレーダー課のナットマン (W. NUTMAN) 両氏が来日した。両氏は6月上旬来日し、気象庁、研究所、名古屋・東京航空両地方気象台等の設備・業務等を視察した (南アメリカ気象局の中央局はプレトリアにある)。

4. 初夏来る

5月19日、日本全土にむし暑い夏がやってきた。気温は平年値より6~7°C高く、湿度は60%近くにまで上り、数日続いた乾いた空気と交替した。

5. ダッカのサイクロン

インドのダッカ地方にサイクロンが襲った由。5月19日の夜、サイクロンがこの地方を吹き荒れ、60人余が死傷したという。

6. 東京の雷雨

5月24日、東京の気温は31.4°Cにのぼり、午後はげしい雷雨が強風を伴って荒れ狂った。

7. マニラでも落雷

5月4日には、マニラにも落雷があり、5名が雷のために死ぬ事故があった。

8. セイロンに洪水

5月25日、セイロン南西部に洪水がおこり200戸以上の家屋が破壊された由。

9. 香港に台風の恵みの雨

5月28日台風が香港の西80kmの点で大陸に上陸したため、長い間、水不足になやんでいた香港の水源に久しぶりの大量の水を供給したが、この台風の猛威は香港周辺にかなりの被害をあたえた。負傷者は28名だが死者はないと報じられている。

10. 雷雨、関東地方に荒れる

5月28日夜から29日朝にかけて千葉・栃木両県の各地に雷雨が襲い、各地に浸水家屋等の被害があった。

11. 6月の嵐 日本縦断

6月3日から5日にかけて、6月には珍らしい大きな二つ玉の低気圧が日本海と太平洋の両岸に沿って日本に沿って日本をはさむように進んだため、各地に豪雨があり、北海道では死者1名をだした。室戸岬の風速は32m/sに達し、各地の降水量は50mm以上、北海道浦河では144mmに達した。

12. エクワドルの地震

6月7日朝、エクワドルに地震があり、サント・ドミンゴ・ド・コロラドス付近の家屋倒壊が報じられている。

13. イタリアでは嵐

6月10日、数年来の嵐がイタリア北東部を襲い、漁船の沈没等をふくめ、かなり大きな被害があった。死者20名以上と報じられている。

14. アメリカ・ソ連間に気象専用線

ソ連およびアメリカの気象衛星の資料交換のため、気象専用通信回線直結する計画が協定された、と5月14日タス通信が報じた。

15. 新潟に大地震

6月16日、13時頃、新潟付近に大きな地震があり、新潟市をはじめ、新潟県、山形県の各地に甚大な被害が生じた。被害総額1千億円以上にのぼろう。